

議事事項(1)

令和4年度事業計画(案)について

令和4年度事業計画(案) P1～2

令和4年度事業計画(案)新旧対照表 P3～5

[別紙参考資料] P6～10

- ・事業体系(新旧対照表)
- ・子どもに寄り添う給付型奨学金事業(拡充)
- ・県外大学等進学サポート事業(新規)
- ・子ども未来応援助成事業 採択等の流れ
- ・ライフステージに応じた横断的なメニュー周知事業「こどもミライ」

沖縄子どもの未来県民会議 令和4年度事業計画（案）

事 項	事業の概要	時 期
総 会	県民会議設置要綱第5条の規定に基づき、県民会議の総会を開催する。	6月～
理 事 会	県民会議設置要綱第3条第6項の規定に基づき、県民会議の事業を円滑に推進するため、理事会を設置する。	5月、 翌年3月
部 会	理事会設置要綱第5条の規定に基づき、理事会の円滑な実施のため、以下の部会を設置する。 1 事業推進部会 2 普及啓発・評価部会	必要に応じ て部会長が 招集
子ども未来支援事業	NPO法人やボランティア等が協働して実施する活動に対し支援するほか、児童養護施設退所児童やひとり親家庭等に対し支援を行う。 (1) 子どもに寄り添う給付型奨学金事業 児童養護施設等を退所し、大学や専門学校、<u>大学院等へ進学する子どもたちへ入学金及び授業料（全額）、教材費等（定額）の支援を行う。</u> また、国の「高等教育の修学支援新制度」等の活用を促すとともに、<u>進学後の実態を把握し、個々の状況に応じた寄り添い支援に取り組む。</u> (2) 子ども未来応援助成事業 子どもの貧困解消に向けた県民運動を推進していくため、困窮家庭の子どもやその保護者に対して寄り添いきめ細やかな支援を実施する沖縄子どもの未来県民会議の構成団体のほか、子どもの貧困解消に取り組む構成団体以外の企業及びNPO法人等を対象に企画提案事業の公募を実施し、採択事業に対し助成を行う。 (3) <u>食支援連携事業（①おきなわこども未来ランチサポート、②日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社との協定に基づく食材提供支援）</u> 地域で食事支援を行う子どもの居場所や十分に食事を摂ることが難しい家庭に対し、食品を安定的に供給する体制を整備することで生活の安定と子どもの居場所の持続的活動を支援するとともに、<u>食品ロスの削減を図る。</u>	通年 通年 通年

	(4) <u>県外大学等進学サポート事業</u> <u>県外大学等に進学を希望する低所得世帯の高校生の経済的負担軽減と安心して学業に専念できる環境を確保するため、県外大学等の受験や進学に係る渡航費用を支援する。</u>	通年
	(5) <u>その他支援活動</u> 企業等における子どもの学びと育ちを応援する活動を後押しし、県民一体となって子どもの貧困を解消するための取組を推進する。	通年
普及啓発事業	沖縄子どもの未来県民会議の取組について、ポスター・パンフレット等の広報物やホームページなどによる普及啓発活動を行うと共に、県民会議の事業を継続的に行うため寄付活動を行う。 (1) <u>協働促進イベントの開催等</u> 沖縄県全体の気運を高め、子どもの未来に対する支援活動や寄付などを拡大していくことを目的に、構成団体等が主催する<u>各種イベント・研修等（オンライン開催）</u>と連携して子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や活動について普及啓発を行う。 また、企業等への寄付要請活動を行うとともに、子どもたちへの支援活動に積極的に取り組み、多大な貢献をされた企業等に対し、感謝状を贈呈する。 (2) <u>公式ホームページ等による情報発信</u> 子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や県民会議の構成会員、NPO団体等の支援活動等について広く情報を発信する。 また、ホームページ、SNSを活用した広報を強化するとともに、「こどもミライ」サイト・アプリの周知、インターネット等での動画配信、多様なメディア媒体を通じた情報発信に取り組む。 (3) <u>その他広報及び寄付活動</u> ポスターやリーフレットを制作するほか、ニュースレターを定期的に発行し、支援を受けた子どもたちの声を構成団体や寄付者へ届ける。 また、企業協力による寄付付き商品や、オリジナルLINEスタンプの販売などの取組も継続して行うとともに、制作した「子ども応援ソングDVD」を活用した広報や新たな手法を取り入れた寄付活動に取り組む。	通年 通年 通年

沖縄子どもの未来県民会議 令和4年度事業計画（案）新旧対照表

令和4年度事業計画案（新）			令和3年度事業計画（旧）		
事項	事業の概要	時期	事項	事業の概要	時期
総会	県民会議設置要綱第5条の規定に基づき、県民会議の総会を開催する。	6月～	総会	県民会議設置要綱第5条の規定に基づき、県民会議の総会を開催する。	6月～
理事会	県民会議設置要綱第3条第6項の規定に基づき、県民会議の事業を円滑に推進するため、理事会を設置する。	5月、 翌年3月	理事会	県民会議設置要綱第3条第6項の規定に基づき、県民会議の事業を円滑に推進するため、理事会を設置する。	5月、 翌年3月
部会	理事会設置要綱第5条の規定に基づき、理事会の円滑な実施のため、以下の部会を設置する。 1 事業推進部会 2 普及啓発・評価部会	必要に応じ て部会長が 招集	部会	理事会設置要綱第5条の規定に基づき、理事会の円滑な実施のため、以下の部会を設置する。 1 事業推進部会 2 普及啓発・評価部会	必要に応じ て部会長が 招集
子ども未来支援事業	NP0法人やボランティア等が協働して実施する活動に対し支援するほか、児童養護施設退所児童やひとり親家庭等に対し支援を行う。 (1) 子どもに寄り添う給付型奨学金事業 児童養護施設等を退所し、大学や専門学校、 <u>大学院等へ進学する子どもたちへ入学金及び授業料（全額）、教材費等（定額）の支援を行う。</u> <u>また、国の「高等教育の修学支援新制度」等の活用を促すとともに、進学後の実態を把握し、個々の状況に応じた寄り添い支援に取り組む。</u> (2) 子ども未来応援助成事業 子どもの貧困解消に向けた県民運動を推進して くため、困窮家庭の子どもやその保護者に対して 寄り添いきめ細やかな支援を実施する沖縄子どもの未来県民会議の構成団体のほか、子どもの貧困解消に取り組む構成団体以外の企業及びNP0法人等を対象に企画提案事業の公募を実施し、採択事業に対し助成を行う。	通年 通年	子ども未来支援事業	NP0法人やボランティア等が協働して実施する活動に対し支援するほか、児童養護施設退所児童やひとり親家庭等に対し支援を行う。 (1) 子どもに寄り添う給付型奨学金事業 児童養護施設等を退所し、大学や専門学校等へ進学する子どもたちへ <u>入学金及び授業料全額</u> の支援を行う。 <u>また、国の「高等教育の修学支援新制度」等の活用を促しながら、対象費目の検討や寄り添い支援を継続的に取り組む。</u> (2) 子ども未来応援助成事業 子どもの貧困解消に向けた県民運動を推進して くため、困窮家庭の子どもやその保護者に対して 寄り添いきめ細やかな支援を実施する沖縄子どもの未来県民会議の構成団体のほか、子どもの貧困解消に取り組む構成団体以外の企業及びNP0法人等を対象に企画提案事業の公募を実施し、採択事業に対し助成を行う。	通年 通年

(3) 食支援連携事業（①おきなわこども未来ランチサポート、②日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社との協定に基づく食材提供支援）

通年

地域で食事支援を行う子どもの居場所や十分に食事を摂ることが難しい家庭に対し、食品を安定的に供給する体制を整備することで生活の安定と子どもの居場所の持続的活動を支援するとともに、食品ロスの削減を図る。

(4) 県外大学等進学サポート事業

通年

県外大学等に進学を希望する低所得世帯の高校生の経済的負担軽減と安心して学業に専念できる環境を確保するため、県外大学等の受験や進学に係る渡航費用を支援する。

(5) その他支援活動

通年

企業等における子どもの学びと育ちを応援する活動を後押しし、県民一体となって子どもの貧困を解消するための取組を推進する。

(3) 食支援連携事業（おきなわこども未来ランチサポート）

通年

地域で食事支援を行う子どもの居場所や十分に食事を摂ることが難しい家庭に対し、食品を安定的に供給する体制を整備することで生活の安定と子どもの居場所の持続的活動を支援する。

(4) その他支援活動

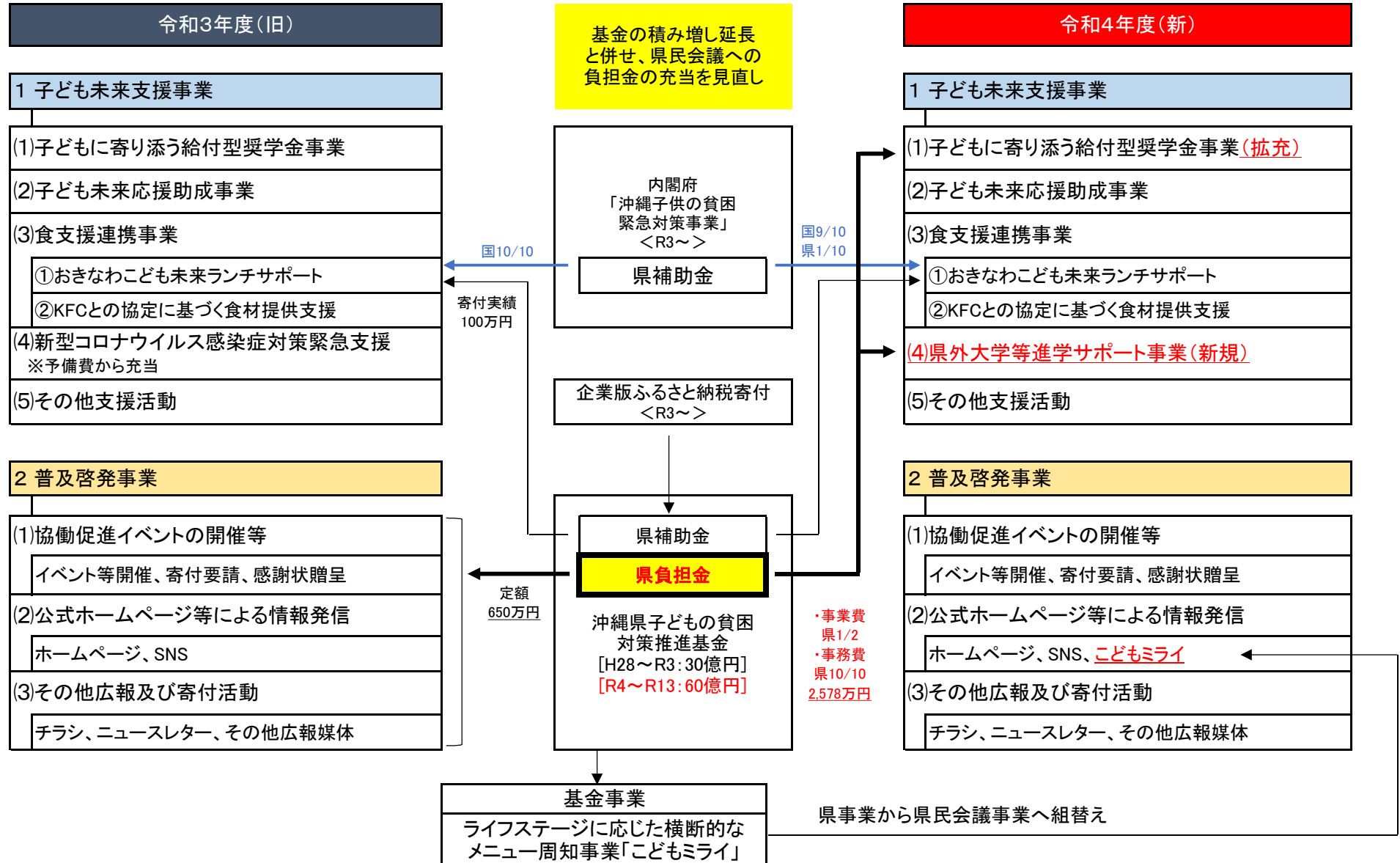
通年

企業等における子どもの学びと育ちを応援する活動を後押しし、県民一体となって子どもの貧困を解消するための取組を推進する。

普及啓発事業	沖縄子どもの未来県民会議の取組について、ポスター・パンフレット等の広報物やホームページなどによる普及啓発活動を行うとともに、県民会議の事業を継続的に行うため寄付活動を行う。		普及啓発事業	沖縄子どもの未来県民会議の取組について、ポスター・パンフレット等の広報物やホームページなどによる普及啓発活動を行うとともに、県民会議の事業を継続的に行うため寄付活動を行う。	
	(1) 協働促進イベントの開催等 沖縄県全体の気運を高め、子どもの未来に対する支援活動や寄付などを拡大していくことを目的に、<u>構成団体等が主催する各種イベント・研修等（オンライン開催）</u>と連携して子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や活動について普及啓発を行う。 また、企業等への寄付要請活動を行うとともに、子どもたちへの支援活動に積極的に取り組み、多大な貢献をされた企業等に対し、感謝状を贈呈する。	通年		(1) 協働促進イベントの開催等 沖縄県全体の気運を高め、子どもの未来に対する支援活動や寄付などを拡大していくことを目的に、<u>県民会議事業への協力を呼びかける広報や、構成団体等が主催する各種イベントと連携して子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や活動について普及啓発を行う。</u> また、企業等への寄付要請活動を行うとともに、子どもたちへの支援活動に積極的に取り組み、多大な貢献をされた企業等に対し、感謝状を贈呈する。	通年
	(2) 公式ホームページ等による情報発信 子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や県民会議の構成会員、NPO団体等の支援活動等について広く情報を発信する。 <u>また、ホームページ、SNSを活用した広報を強化するとともに、「こどもミライ」サイト・アプリの周知、インターネット等での動画配信、多様なメディア媒体を通じた情報発信に取り組む。</u>	通年		(2) 公式ホームページ等による情報発信 子どもの貧困解消に向けた県民運動の取組や県民会議の構成会員、NPO団体等の支援活動等について広く情報を発信する。 <u>また、ホームページやSNSを効果的に活用した広報やインターネット等での動画配信を実施するとともに、多様なメディア媒体を通じて情報を発信する。</u>	通年
	(3) その他広報及び寄付活動 ポスターやリーフレットを制作するほか、ニューズレターを定期的に発行し、支援を受けた子どもたちの声を構成団体や寄付者へ届ける。 また、企業協力による寄付付き商品や、オリジナルLINEスタンプの販売などの取組も継続して行うとともに、制作した「子ども応援ソングDVD」を活用した広報や新たな手法を取り入れた寄付活動に取り組む。	通年		(3) その他広報及び寄付活動 ポスターやリーフレットを制作するほか、ニューズレターを定期的に発行し、支援を受けた子どもたちの声を構成団体や寄付者へ届ける。 また、企業協力による寄付付き商品や、オリジナルLINEスタンプの販売などの取組も継続して行うとともに、制作した「子ども応援ソングDVD」を活用した広報や新たな手法を取り入れた寄付活動に取り組む。	通年

沖縄子どもの未来県民会議 事業体系(新旧対照表)

～ 県補助金、県負担金の充当状況 ～



子どもに寄り添う給付型奨学金事業（拡充）



児童養護施設等を退所する子どもたちの大学、専門学校、大学院への進学に係る入学金、授業料、教材費等は無償で給付することにより、子どもたちが経済的な理由で進学を諦めることなく、夢や希望を持って成長していける社会の実現を図る。

現行 (H28～R3)

R3当初予算 29,271千円

【対象】

児童養護施設等の退所者で大学、専門学校に進学する者

【支援内容】

- ・入学金、授業料、教材費等の給付（※教材費等はR3から実施）
- ・進学後の寄り添い支援（面談、お便り、交流会等）

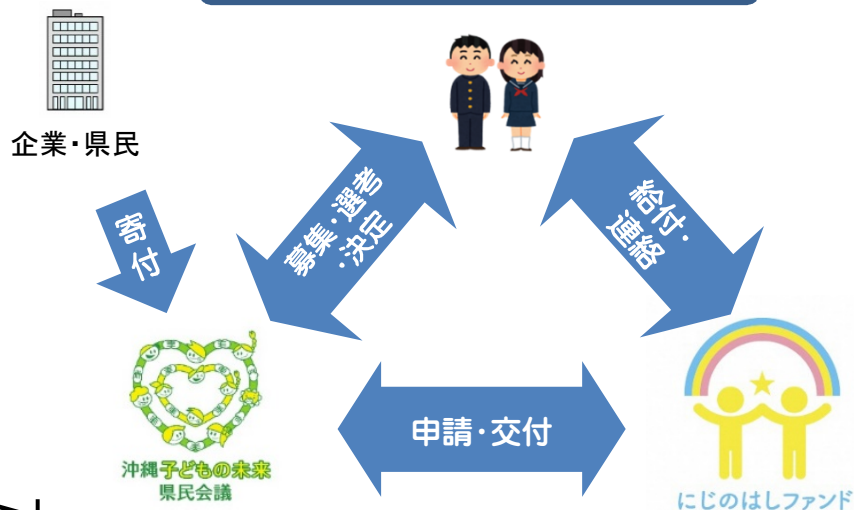
【実績】

応募者全員を給付決定 累計98人

【実施体制】

企業や県民からの寄付金を活用し、沖縄子どもの未来県民会議とNPO法人にじのはしが協働して実施

事業スキーム



拡充 (R4～)

R4当初予算案 32,697千円

うち県負担金 17,826千円(事業費1/2、事務費10/10)

県民会議 14,871千円(事業費1/2)

【対象】

児童養護施設等の退所者で大学、専門学校、**※大学院**に進学する者（※大学院の進学の目的について、引き続き、事業推進部会で審議）

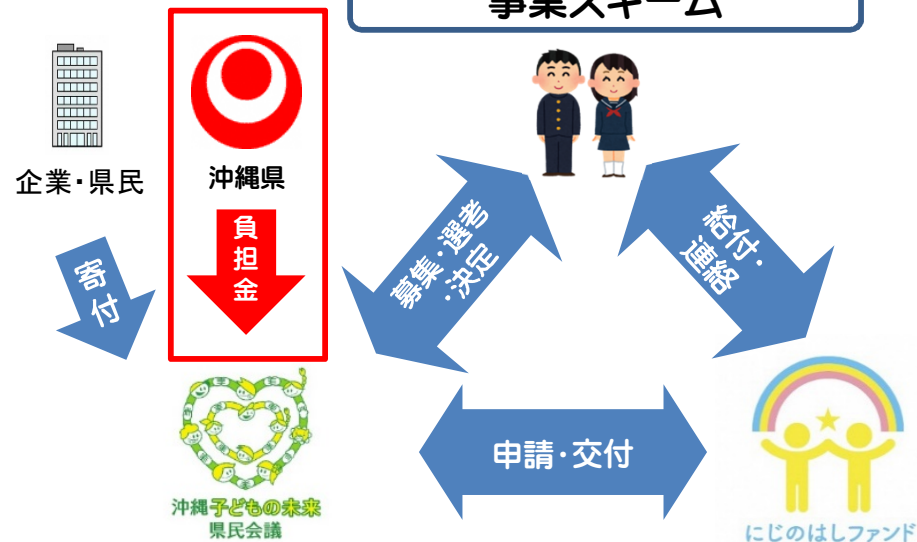
【支援内容】

- ・入学金、授業料、教材費等の給付（※教材費等はR3から実施）
- ・進学後の寄り添い支援（面談、お便り、交流会等）

【実施体制】

企業や県民からの寄付金と**沖縄県の負担金**を活用し、沖縄子どもの未来県民会議とNPO法人にじのはしが協働して実施

事業スキーム



県外大学等進学サポート事業（R4新規）



<R4当初予算案 14,929千円、うち県負担金 7,954千円(事業費1/2、事務費10/10)、県民会議負担額 6,975千円(事業費1/2)>

【目的】

県外大学等に進学を希望する低所得世帯の高校生の経済的負担軽減と安心して学業に専念できる環境を確保するため、県外大学等の受験や進学に係る渡航費用を支援する。

事業概要

【対象】

低所得世帯の高校生で、県外大学等(専門学校を含む)を受験・進学する者

<例> ※詳細については、要領等で定める。

- ・児童扶養手当受給世帯の高校生
- ・住民税非課税世帯の高校生
- ・児童養護施設等に入所している又は里親に委託されている高校生

【実施内容】

- ・県外大学等への受験又は進学のため、渡航に要する旅費(航空賃、バスや電車などの公共交通機関利用費)を支援する。
- ・1人10万円を上限に支給。

【支払方法】

- ・沖縄子どもの未来県民会議から生徒の保護者の銀行口座へ振り込み
※概算又は精算

【事業の効果】

- ・進学前の準備をサポートすることにより、社会的な自立につなげる。
- ・低所得世帯の高校生の経済的負担軽減と教育・生活環境の確保を図ることにより、世代間の貧困の連鎖を断ち切る。



事業の仕組み(イメージ)

企業・県民



事業費1/2

寄付

沖縄県



負担金

事業費1/2
事務費10/10



支援

受験・進学

対象高校生



渡航費用



県外大学等



沖縄子どもの未来県民会議 子ども未来応援助成事業 採択等の流れ

子ども未来政策課

日程	内容
令和3年 4月19日 ～5月11日 5月21日 6月11日	○公募実施 ○事業推進部会（事業者選定：9団体採択） ○交付決定通知（県民会議→事業者） 事業開始
10月27日 11月24日	○中間報告（5団体） ○中間報告（4団体）
令和4年 1月26日 2月16日 3月16日 ～3月31日	○合同部会（事業評価） ○事業推進部会（令和4年度事業計画（案）） ○理事会（令和4年度事業計画（案）、令和4年度収支予算（案）） 実績報告
4月11日 ～4月28日 5月上旬 5月中旬	○公募実施 ○事業推進部会（事業者選定） ○交付決定通知（県民会議→事業者） 事業開始
10月中旬 ～11月上旬	○中間報告 ○中間報告
令和5年 1月下旬 2月下旬 3月中旬 ～3月31日	○合同部会（事業評価） ○事業推進部会（継続可否の審査、令和5年度事業計画（案）） ○理事会（令和5年度事業計画（案）、令和5年度収支予算（案）） 実績報告

○沖縄子どもの未来県民会議理事会設置要綱（抜粋）

（部会の業務）

第6条 各部会は、次の各号に掲げる業務を実施する。

- (1) 事業推進部会
 - ア 民間資金による寄付金を活用した支援事業の企画立案に関すること
 - イ 支援事業の募集に関すること
 - ウ 支援対象者の選定に関すること
 - エ 支援事業の実績報告に関すること
- (2) 普及啓発・評価部会（略）

ライフステージに応じた横断的なメニュー周知事業

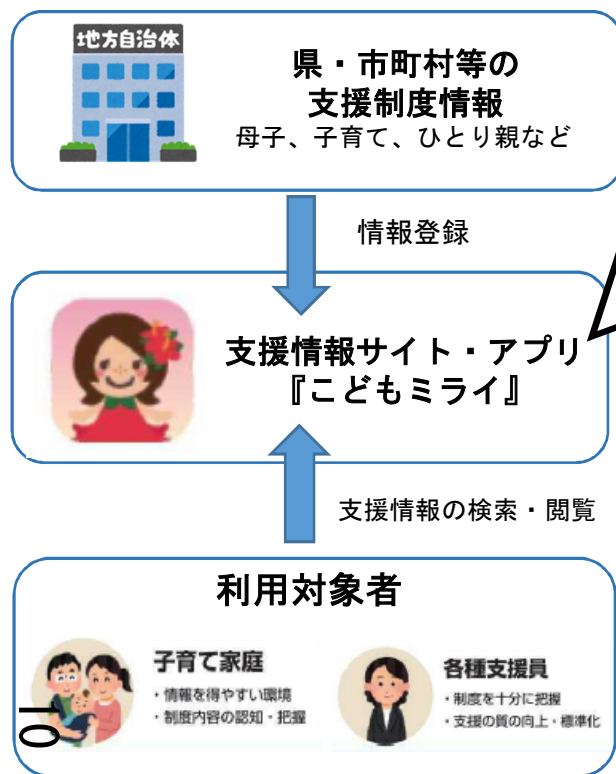
子どもの未来を応援する情報サイト・アプリ『こどもミライ』

令和4年度予算額：900千円

目的

子育て支援は、母子保健、子育て、児童福祉、ひとり親支援等多数の支援制度があることから、子育て世代に関わる各種支援員や子育て家庭等が制度を十分に把握できていないことによる機会の損失が生じないように、ライフステージに応じた支援メニューをまとめたサイト及びアプリ『こどもミライ』を活用してもらうことで、支援の質の向上・標準化を図るとともに、子育て家庭が情報を得やすい環境を整える。

「こどもミライ」活用の流れ



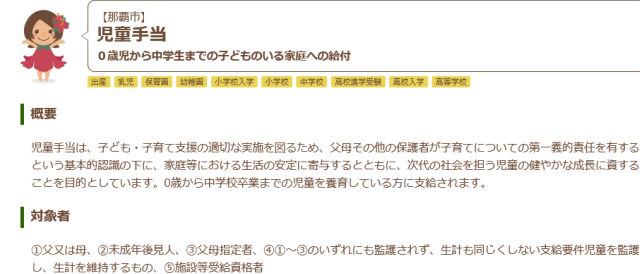
検索イメージ



子育て支援メニューの検索は

- ・子どものライフステージ（年代別）
妊娠、出産、小学校、中学校など
- ・支援分野（困りごと別）
ひとり親、就学支援、生活保護などに分け、各市町村の情報を絞り込み可能。

掲載情報の画面



※『こどもミライ』はPC、スマートフォン、アプリ（Android版）で利用することが可能です。

議事事項(2)

令和4年度収支予算(案)について

令和４年度収支予算（案）

自 令和４年４月１日
至 令和５年３月３１日

１ 収入の部

（単位：千円）

区分	R4予算	R3予算	差額	摘要
(1)寄付・募金	30,000	30,000	0	企業、団体、個人からの寄付
(2)サポーター会費	6,600	6,600	0	企業・団体3,000千円（年額120千円×25口） 個人3,060千円（年額12千円×300口）
(3)沖縄県負担金	25,780	6,500	19,280	県負担金（沖縄子どもの未来県民会議負担金事業） ①子どもに寄り添う給付型奨学金事業 17,826千円 ②県外大学等進学サポート事業 7,954千円
(4)事業補助金	15,971	15,971	0	食支援連携事業に対する補助金 ①国庫補助金 14,971千円 ②沖縄県子どもの貧困対策推進基金 1,000千円
(5)事業返還金	485	4,702	△4,217	子どもに寄り添う給付型奨学金助成事業における、 その他奨学金との併用に伴う返還金
(6)繰越金	58,299	60,896	△2,597	前年度繰越金
(7)その他	1	1	0	利子など
計	137,136	124,670	12,466	

２ 支出の部

（単位：千円）

区分	R4予算	R3予算	差額	摘要
(1)子ども未来支援事業費	89,778	65,457	24,321	①子どもに寄り添う給付型奨学金事業 ②子ども未来応援助成事業 ③食支援連携事業 ④県外大学等進学サポート事業 ⑤その他支援活動
(2)普及啓発事業費	7,750	7,700	50	①協働促進イベントの開催等 ②公式ホームページ等による情報発信 ③その他広報及び寄付活動
(3)事務局運営費	4,755	3,500	1,255	賃金職員、郵送費、消耗事務用費、寄付管理システム使用料、クレジットカード決済運用諸経費、その他事務局運営費
(4)予備費	34,853	48,013	△13,160	予定外の支出等に備えるための費用
計	137,136	124,670	12,466	